

GROUPE
CLARINS



倫理
憲章

美しい態度

2023

目次

はじめに / 3

クラランスの価値観 / 4

本憲章の対象者 / 4

序文 / 5

ラランスの行動倫理 / 6

個人を尊重する / 7

多様性と尊厳

各自の安全性

私生活と個人データ

消費者の信頼を維持し透明性をもってコミュニケーションを図る / 9

顧客を尊重する

信頼性及び透明性の高い方法でコミュニケーションを図る

企業を守る / 11

内部情報の機密性と保護

イメージの保護

グループに受け継がれる遺産

公正な関係と忠実な行動を促進 / 14

公正な関係

忠実な行動

人権と自然の保護に寄与する / 16

基本的な社会権と地域組織の保護

環境及び天然資源の保護

実践 / 18

参考情報 / 20

クラランス グループが参考に行っている国際合意

その他内部資料

行動 倫理のために

はじめに

本文書は、世界人権宣言の基本方針、国連グローバル・コンパクトの諸原則、OECDガイドラインを基に策定されたものです。



ジョナサン・ジリエン
会長兼CEO

クラランスは、美容を専門としたフランスの家族経営企業です。私たちは、起業家精神と敏捷さ、好奇心が組み合わさった遺産に誇りを持っています。

クラランスでは、世界各地の従業員の能力を信頼し、私たちの行動を長く記憶に残すために、責任ある美の奨励に力を注いでいます。

私たちは、「人生をより美しくし、より美しい世界を伝える」ことをミッションに掲げ、差別化された製品とサービスを提供する2つの堅固なブランドを基に、従業員とお客様の生活に感動、美しさ、幸福をもたらします。

全従業員が日々実践しているグループの価値観は、シンプルかつ正しい価値観です。その価値観の中心には、企業として、雇用者として、また企業市民として、倫理的なアプローチの大きな原則を定める企業文化が置かれています。人生をより美しくし、より美しい世界を伝えること。これが、クラランスグループの掲げるミッションです。

クラランスの価値観

家族経営企業であるクラランスは、すべての人が日常的に実践し共有する価値観を掲げて設立されました。この価値観は、クラランス グループを責任ある形で発展させ、強固なコミットメントを育てるというグループの大意の中心に置かれています

消費者に対する敬意、従業員の成長、価値観の創出、自然の保全、社会との共生。これこそが、私たちクラランス グループが望む責任ある美というビジョンの実現に寄与するものです。

こうした価値観や構造的なコミットメントは行動原理として表明され、それは、倫理憲章を通じて大意あふれるグローバルなアプローチの中で形式化されています。そしてこの倫理憲章こそが、クラランス グループの倫理規範と倫理的実践に関する一貫した共通土台となっています。

この倫理憲章が目指すもの。それは、クラランス グループのガバナンスの効率性と公平性、つまり「美しい態度」を確固たるものにする事です。

本憲章の対象者

クラランス グループは、社内関係者（従業員、ソーシャルパートナー、経営幹部）あるいは社外関係者（消費者、専門家、供給業者、サービスプロバイダー、公共団体、非政府機関/組織）に向けて本文書を発信します。

参照されるための文書である本倫理憲章は、クラランス グループの組織、職務、ブランド全体に適用され、グループの全従業員を対象とするほか、第三者企業からグループの一組織に派遣されたすべての個人を対象とします。

従業員は一人一人が本憲章の内容を把握し、本憲章を尊重

し、また本憲章が尊重されるよう留意する必要があります。同時に、クラランス グループのすべての請負業者や提携業者が本憲章について把握するよう留意する必要があります。

クラランス グループ及びグループ経営陣は、世界各地で、一人一人の注意を促すために、この諸原則を持続させるべく取り組んでいます。

管理職に従事するすべての従業員は、本倫理憲章の精神を手本にアンバサダーとして関与し、倫理の問題に自問するすべての人に寄り添う必要があります。

序文

クラランス グループのすべての組織及び従業員は、全世界で、事業を展開する国の該当する法規制に従うものとします。

クラランス グループのすべての組織及び従業員は、グループの事業に関連する諸規定、とりわけ、専門的な職業倫理の規定について把握するよう留意します。

全従業員は該当する法規制に則って行動するものとし、違法行為や不当行為に自らを駆り立てたり、ほかの従業員や自らの企業またはクラランス グループを引き込むようなすべての行動を差し控えるものとします。本憲章はすべてを網羅したものではなく、あらゆる問題に対する答えを提供するものではありません。全給与所得者は分別をもって適切な行動を取ることが求められ、そのために、本文書で言及されている諸項目にふさわしい良識に訴えたり、あるいは、すべての正当な要求を支援する経営陣に助けを求めるものとします。

この姿勢は、クラランスの取り組みの信頼性と有効性に欠かせない前提条件となります。

クラランス グループでは、この諸原則をパートナー企業と共有することを望んでいます。

地域の法律や慣習とクラランス グループの倫理憲章の指針に差異がある場合は、それに起因する行動によって違法な活動や違法行為が生じることがあってはなりません。





クラランスの行動倫理

クラランス グループの各価値観とは、人と自然を尊重しながらも責任ある発展を保証できるような、行動及び振舞いを裏付ける倫理原則について述べるものです。

個人を尊重する

クラランス グループは、公平な人材ポリシーを掲げ、才能の多様性を促進し、すべての従業員の労働の安全と健康に留意し、私生活を尊重する法律に準拠しています。

多様性と尊厳

クラランス グループは、すべての人に対する機会均等と性差の撤廃を促進しています。これはつまり、あらゆる形態の差別の拒絶を意味するもので、理由に関わらず、雇用と同様、労働における人間関係においても実践します。

一般的に、個人の尊厳に及ぶ可能性がある行動や不遜な行動は禁止され、とりわけ、その形態に関わらず、

一切のハラスメントは禁止されます。個人を尊重することとは、雇用における倫理の場合、たとえば、従業員の

ビジネスにおける成長の公平性、研修、能力やクリエイティビティの価値を高める成長の展望、職務や能力の進展、資格を得るための道筋、従業員の代表機関によって培われた社会的対話、組合の複数共存に関与することを

指します。社会的な関係性や従業員間の関係性は、敬意、信頼、好意に基づくものです。



個人を尊重する

各自の安全性

クラランス グループは、責任ある雇用者として、全従業員の労働時の健康と安全対策に取り組んでいます。全事業が現行の衛生法規を順守し、ベストプラクティスを実施することに注力しています。



安全性と健康は全員に関わる問題です。全従業員は、一人一人が個々にこの点に留意する必要があり、サービスプロバイダーとの関係性の中でもこのコミットメントを実践するために、予防措置を講じる存在であることが求められます。

私生活と個人データ



私生活を尊重し、個人の特性を含んだデータを保護することは、従業員及びパートナー（消費者、サービスプロバイダーなど）に対してクラランス グループが認める基礎的な権利です。

個人データの利用は、明確かつ明示的で合法的な目的のもと、公明正大な方法で行なわれる必要があります。またその保存は、関連する処理目的に必要な期間のみとすることが求められます。クラランス グループの各従業員は、とりわけ、情報ファイルを管理する場合、従業員、消費者、パートナー企業の私生活の尊重に関連する法律の順守に留意します。一人一人がとりわけ情報憲章を参照しながら情報セキュリティ及び安全性に関連する規制を把握することが推奨されます。

消費者の信頼を維持し、透明性をもってコミュニケーションを図る

顧客を尊重する

クラランス グループでは、革新を遂げ、人の健康を尊重した製品選択に関する最も厳しい要件を課すことで、自社製品の安全性と品質に厳格に注意を払っています。この目的を果たすために、グループではすべての原材料及び成分のトレーサビリティを徹底しています。

クラランス グループは、厳格な評価方法によって、品質と安全性計画を実施しています。製品または製造工程がグループの水準から逸れる場合は、状況改善を図るために直属のマネージャーに通知することが求められます。消費者から寄せられる警告に対しても同様に、コスメトビジランスのプロセス経路を使用することへの留意が求められます。



クラランス グループは、お客様に誠実かつ明確な情報を提供し、お客様から託される個人情報の機密性を保証します。

クラランス グループは、責任ある消費に関わる企業として、製品についての責任あるコミュニケーションとプロモーションを保証し、消費者に喚起することに留意します。



消費者の信頼を維持し、透明性をもってコミュニケーションを図る

信頼性及び透明性の高い方法で コミュニケーションを図る

クラランス グループは、情報の質の重要性を認め、とりわけ公に向けて、透明かつ信頼できる情報を利用します。

特に商業関係においては、広告コミュニケーションを通じて、誠実で質の高い情報を第三者に発信することに留意します。

情報の伝達やコミュニケーションにおける透明性、誠実さ、信頼性は、グループの全従業員に求められる職業的な行動倫理に含まれるものです。



実例



全従業員は、特別財務報告を含む金融情報あるいはその他の書類に記載されているすべての情報が正確であることを保証しなければなりません。ビジネス書類に誤りが見つかった場合は、グループの利益を保全するために、経営陣に誤りについて通知することが求められ、社内外の監査人と協力することが求められます。



企業を守る

内部情報の機密性と保護

非公開情報は、確実に保護されなければなりません。それが内部情報であっても、機密情報であっても、社外秘であっても、クラランス グループやその従業員あるいは第三者に関する情報であっても変わりません。



とりわけ、著作権、私生活、業務上の秘密、あるいは機密情報を順守することに関しては、全従業員が該当法規の条項を順守することに留意しなければなりません。



特にクラランス グループ外部の人に機密情報を漏洩してはならず、とりわけ転職の際にはこの 目的のために必要なあらゆる注意を払う必要があります。そして、グループのすべての書類または 情報媒体の配布、複製、保存、廃棄に関する規定を順守する必要があります。



実例

内部情報の例としては、新製品の開発、財務結果、投資や研究プロジェクト、臨床研究の重大な結果などに関連する情報が挙げられます。

グループと第三者が守秘義務および秘密保持条項を締結していない限り、クラランス グループの製品に関する社外秘情報や機密情報への第三者、個人、企業によるいかなるアクセスも許可されません。

企業を守る

イメージの保護



クラランス グループは従業員に対して、コミュニケーションネットワークやソーシャルメディアの責任ある使用を推進しています（フォーラム、ソーシャルネットワーク、ブログ、画像・動画共有サイトなど）



さらに、明示的な許可が得られていない場合は、グループの利益のために クラランス グループの名前を記載し自己表明することは認められません。



実例

関係者による事前の承諾がない場合は、企業内のイベントで同僚を撮影した写真を、個人のブログやオンラインサイトに掲載しないことが推奨されます。



企業を守る

グループに受け継がれる遺産

各従業員は、クラランス グループのブランド、財産、資源、資産を保護する義務があり、それらの所有権はグループが有します。

これはクラランス グループに受け継がれる遺産を守るための取り組みです。



全従業員は、クラランス グループから提供される商品や手段について、その内容にかかわらず個人的な目的で不適切に使用しないことに留意するものとします。グループから提供される商品や手段はあらゆる状況で保護されるものであり、これらの使用は業務に適切な範囲内に留めることが求められます。

グループの資産には、グループの従業員が策定した発想やノウハウのみならず、その評判も含まれます。同様に、従業員が各自の職務の実践においてアクセスしたすべてのデータや情報もこれに含まれます。

こうした遺産の保護は、従業員が離職した後も続くものとします。



事例

ブランドの製品は、グループに受け継がれる遺産の一部です。こうした製品を従業員が優先的に入手できることは、個人または家族の使用に厳格に限定されるものであり、いかなる対価でも、いかなる状況でも転売することは認められません。

同様に、商取引の一環として第三者に譲渡が可能な製品は、製品イメージを保護するために、内容数量を示し、行動倫理規定に忠実に順守するために、象徴的価値を付与する必要があります。

公正な関係と 忠実な行動を促進

クラランス従業員や多様な利害関係者との関係性において、信頼、パートナーシップ、共有、連帯、価値創出への貢献をベースとした協力関係を重視しています。

公正な関係

クラランス グループでは、公正かつ忠実な関係を提携業者（供給業者、流通業者、下請け会社、サービスプロバイダーなど）と保つことに専心しています。

また全提携業者に対して、社会法的要件の順守、人権と労働条件の順守、環境要件、事業活動要件を遵守し、すべての活動において最高の倫理基準を尊重します。

グループは、倫理憲章や、社内の行動規範及び手順規範全体を従業員に自由裁量にゆだねています。

グループでは、とりわけ汚職防止の行動規範として供給業者の憲章を通達し、これらの様々な文書に規定されている原則の順守において、提携業者に透明性と誠実性を求めます。

クラランス グループは、完全に独立した状態で公的な領域に介入することに取り組んでいます。



公正な関係と 忠実な行動を促進

忠実な行動

クラランス グループは、能動・受動、また公私を問わず、利益誘導の共犯があったかあるいは優遇があったかに拠らず、あらゆる形態での汚職を禁止し、あらゆる契約関係における忠実性を奨励します。

クラランス グループのすべての従業員は、商取引や優遇措置を得たり維持する目的で、直接・間接を問わず、どのような性質、どのような手段であれ、不当な利益を第三者に付与してはいけません。

全従業員は、利害衝突の状況に置かれる疑いがあったり、公明正大さに疑義を生じさせうる疑いのある第三者との関係を回避するものとします。同様に、第三者に対して、クラランス グループの企業との取引を説得したり導こうと努めるような状況を強いることのないよう留意するものとします。全従業員は、グループが定める汚職防止に関する現行の行動規範を遵守することが義務付けられます。



クラランス グループの会社の名前で贈り物を贈ったり受け取ることができるのは、状況から考えてその価値が象徴的である場合または価値が高くない場合のみとし、贈与者の誠実さと授受者の公平性を疑わせる性質がない場合に限られます。

人権と自然の保護に寄与する

基本的な社会権と地域組織の保護

クラランス グループは、社会的責任を持つ企業として、提携業者及び事業を展開する地域に対して、強制労働、児童労働、ハラスメント、差別の撲滅、また品行方正な労働の奨励、女性の自由解放、労働組合の自由、衛生及び安全性の推進に取り組んでいます。

世界に開かれた企業市民として、クラランス グループは、子どもの利益、医療の研究、生物多様性、環境といった、社会の優先事項として強調されるプロジェクトを支持し、多くの非政府組織や人権団体と協力しています。



人権と自然の保護に寄与する

環境及び天然資源の保護

当初より、クラランス グループは、自然や生物多様性、環境保全に熱心に取り組んでいます。

また、クラランス グループは、環境コンセプトや循環経済の取り組みにおいて、環境への影響を最小限に抑える

ために、事業における環境への影響を予測しています。

事業やビジネス慣行、行動による影響を小さくし、環境に配慮した製造工程を維持・開発し、エコ製品やエコ包装を促進することに、クラランス グループは継続的に取り組んでいます。

環境や生物多様性に配慮した植物由来の自然の原材料によって、より確実なフォーミュラを着想し続けることで、グループは、責任ある美に寄与するべく取り組んでいます。

全従業員は、この発展的な取り組みにそれぞれの行動や活動を通じて関わります。





実践

本憲章は、グループの職種やブランド全体で確認、受領、実践されることを目的に、クラランスグループを構成する組織全体に配布されます。

実践

クラランス グループの各組織には、本憲章で触れられているガバナンスや行動・振舞いの倫理的原則を実践し、適用させる責任があります。

クラランス グループの全従業員は、その職務や責任に関わらず、本倫理憲章に規定される原則を順守し、職務の日々の実践においてそれらを活用することに留意しなければなりません。

本倫理原則は、あらゆる状況においてクラランス グループの全従業員の倫理的言動によって示されるべきものです。

本憲章は、各従業員が社内外での関係性において直面しうる困難な状況で各自がとるべき態度について自問を促すものであることが求められます。

従業員が法的条項、あるいはクラランス グループの倫理憲章に言及されている原則が守られていないと判断した場合、あるいはその恐れがあると考えられる場合は、適切な猶予内に経営陣あるいは記載されている専用委員会にその旨を通知してください。



参考情報

クラランス グループが参考に行している国際合意

- 世界人権宣言
- 国連グローバル・コンパクトOECDガイドライン
- 国際労働機関憲章
- グローバル・コンパクト
- ミレニアム開発目標
- ユネスコの子どもに関する条文

その他内部資料

- 供給業者の行動規範
- 運輸憲章
- グループ購買手順
- 情報憲章
- 内部規定
- 汚職防止行動規範
- ビジネスにおけるアラート対策：

-クラランス グループ（スペイン、アメリカ、カナダ、ロシア、日本を除く）：<https://report.whistleb.com/fr/clarins>

-アメリカ及びカナダ：
<https://secure.ethicspoint.com/domain/media/en/gui/69699/index.html>

-スペイン：<https://canaletico.es/es/clarins>

-ロシア：whistle.russia@clarins.com

-日本：whistle.japan@clarins.com

The logo for Groupe Clarins features a dark red, curved arch above the text. The word "GROUPE" is written in a small, black, sans-serif font, centered under the arch. Below it, the word "CLARINS" is written in a larger, black, serif font, also centered.

GROUPE
CLARINS